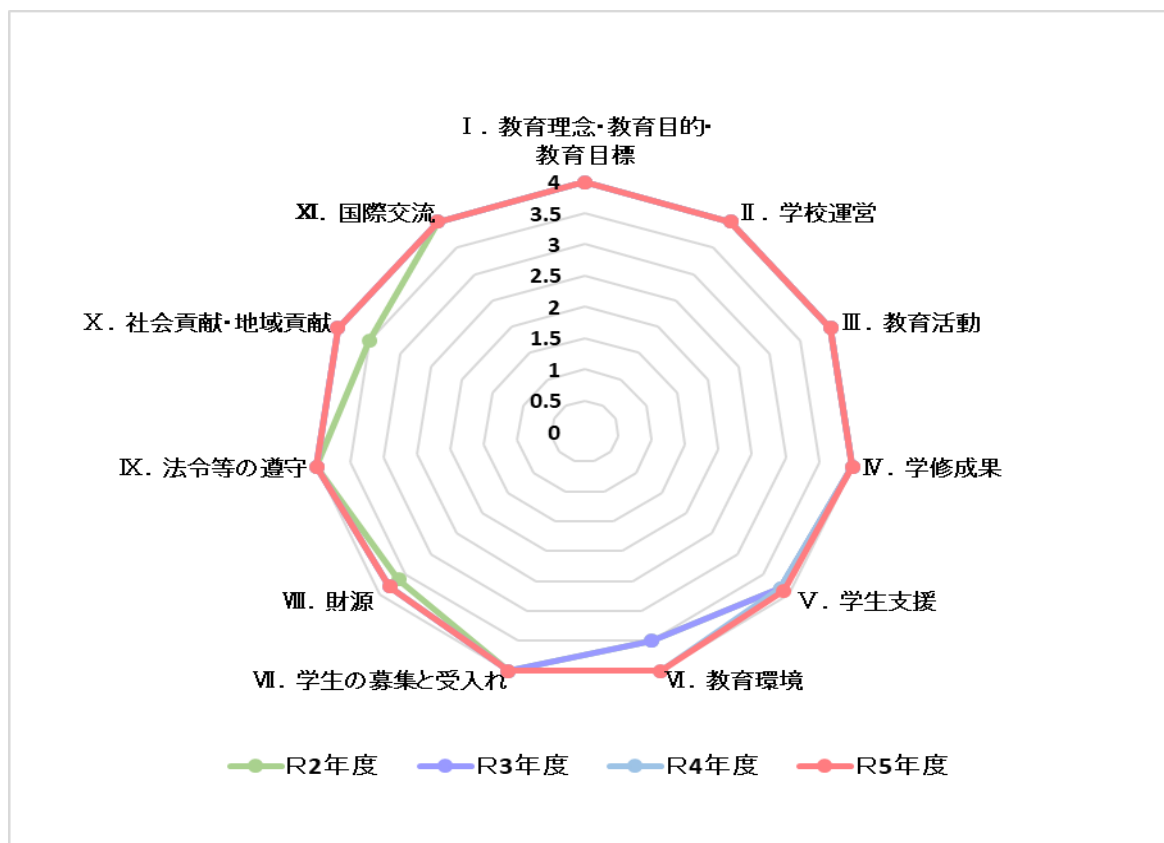


【令和5年度 学校評価結果】

<自己点検・自己評価結果>

カテゴリー(大項目)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
I. 教育理念・教育目的・教育目標	4	4	4	4
II. 学校運営	4	4	4	4
III. 教育活動	4	4	4	4
IV. 学修成果	4	4	4	4
V. 学生支援	3.8	3.8	3.8	3.9
VI. 教育環境	3.5	3.5	4	4
VII. 学生の募集と受入れ	4	4	4	4
VIII. 財源	3.6	3.8	3.8	3.8
IX. 法令等の遵守	4	4	4	4
X. 社会貢献・地域貢献	3.5	4	4	4
XI. 国際交流	4	4	4	4



自己点検・自己評価結果

<令和5年度 自己点検・自己評価 総括>

I 「教育理念・教育目標・教育目標」自己評価：4.0

日常的に教育理念、教育目標に戻り教育活動を実施していくことを大切にしている。

新カリキュラムも2年目を迎え、次年度は新カリキュラムでの卒業生を送り出すこととなる。

学校運営会議では、今後の学校運営について意見交換を行った。今後も設置病院への人材供給という使命を果たし得るかということを中心に意見交換をし、将来構想については教職員全員で共有している。

II 「学校運営」自己評価：4.0

旧新カリキュラムの学生が在籍する状況で、カリキュラム運営につき教職員全員で取り組んでいる。

新カリキュラムにおける運営上の課題も具体化し、地域・在宅看護論実習では新たな実習内容で実施し、また、フィジカルアセスメントの学科進捗を見直し実施した。今後も、よりよいカリキュラム運営を目指していく。次年度は新カリキュラムでの卒業生を送り出すことで、新カリキュラムの評価を行い、さらに運営事業方針の見直し等を進めていく。

人事・給与制度、意思決定システムについては、規定などに明示されたものに則り運営されている。本年度より新たな勤務評定制度的のもと、教職員は目標管理をしながら、運営を進めている。

情報のシステム化を図り、文書管理規定など取扱規程を明文化しルールに沿って運営している。

BCP策定と関連する危機管理マニュアル・感染対策マニュアルなどの改正も進めた。新型コロナウイルス感染症の5月から第5類移行を踏まえて、6月より学校内感染予防ガイドラインに移行した。学校内感染予防ガイドラインに沿って行動し、校内クラスター発生ゼロであった。

BCP策定については、初動訓練や1月の能登半島地震の初動活動を評価し、BCPにもとづく危機管理マニュアルの大幅改定を行った。今後も例外的出来事に対して、その都度検討し対応していく。

III 「教育活動」自己評価：4.0

コロナ禍での授業方法及び施設・設備等により教育効果の維持に努めることが求められており、オンライン授業が可能なように体制を整え実施している。また、学生個々の学習状況を、担任・教員全体で把握し、必要に応じて支援している。

キャリア教育としては、看護観に基づき看護師に必要な知識・技術・態度の付与に加え、職業人になるという自覚や態度を育成し、コミュニケーションスキルや人間関係形成、問題解決などの能力の育成に努めている。進学に向けての情報提示や支援についても強化し、時期を早め実施した。

教員は対面あるいはオンラインによる研修等、研鑽に努め知見を共有し、よりよい教育の提供に向けて努めている。各学年間の交流を図る企画については、対面あるいはオンラインを活用し実施している。

臨地実習指導者が役割を認識し、主体的に活動できるよう支援した。今年度は、各領域で臨地実習を行うことができたが、一部、学内実習を余儀なくされた。学内実習であっても、技術指導・患者役・看護師モデル等で実習指導者の協力を得ることで、学生の学びに効果をもたらしている。

IV 「学習成果」自己評価：4.0

看護師国家試験の全員合格に向けて、看護師国家試験対策としてガイダンスや模擬試験の実施と評価、模擬試験結果を受けての個別指導のほか、業者と連携を図りながら支援している。学生が主体的に学習に取り組めるように、学生の能力に応じた動機づけと支援をすすめている。

V 「学生支援」自己評価：3.9

設置医療施設と連携し、就職支援を行っている。設置医療施設以外の就職も視野に入れて、早めに志望先を絞るべく、2年次からキャリア支援講座の実施、就職ガイダンスを行い、インターシップへの参加を促進している。自己分析や履歴書の書き方、面接対策等、業者の協力を得ながら具体的に支援している。年々採用試験時期が早まる中、第一志望の就職先の試験を視野に、優先度を考えながら採用試験を受けられるよう助言している。

学生相談に関しては、担任による個別対応のほか、「なんでも相談室」として自由面談の機会を設けている。また、専任カウンセラーの配置は難しいため、校医に精神科医師を配置し、必要時、設置病院での「ほっとルーム」につなげるよう体制を整えている。

経済的支援としては、各種奨学金制度が利用できるよう紹介している。また、社会人経験のある入学生が活用できるよう、教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の指定講座となっている。高等教育の修学支援新制度の確認申請により、今年度に引き続き次年度も対象校に認定されている。

個人情報の取り扱いでは教職員の取扱いの現状を把握し、取扱規程を明文化し運営している。文書管理についても、規定をもうけ運営している。

VI 「教育環境」自己評価：4.0

既存の3階建ての施設設備をバリアフリー化することは、経済的にも難しい。建物の経年変化に対しては、昨年度行った校内各室の点検をふまえ、今年度は2、3階の各室に網戸を設置した。今後も、優先度をつけて計画的に改修等を進めていく。今あるスペースをいかに使い勝手のいいものにしていくか、物の配置も含めて検討している。防災体制などの整備を進め、講義室ロッカーの転倒防止のための固定、災害時に頭部を守るための学生用ヘルメットを購入するなどの対策をすすめている。

VII 「学生の募集と受け入れ」自己評価：4.0

受験生のニーズを把握するために、学校説明会やオープンキャンパス参加者や受験生にアンケートを実施している。当校に受験や入学を決めるきっかけは変わらないが、アンケート結果をふまえて当校や設置病院の魅力を発信していく。

県内看護専門学校の入学試験日は、年々早まる傾向にあり、当校も昨年度より一般入試の入試時期を前倒ししているが、昨年度より受験生は減少した。県内18歳人口の減少、大学志向、さらに令和5年、6年4月に県内に看護系の大学が開学したことは、受験生減少の要因であると考えられる。

卒業生の到達状況は、卒業生の特性と看護師の実践能力の自己評価で行っている。

VIII 「財務」自己評価：3.8

設置病院の付帯施設として、財政的に依存している。昨今の医療を取り巻く状況や消費税増税などの影響から、一層の財務改善への取り組みも必要とされている。学生数の確保は、その点でも重要な課題である。今後、学校建設28年目となり、長期的な施設設備の補修等も見込んでいく必要がある。それらを含めて、支部・設置医療施設・看護学校で協議していく。

IX 「法令等の遵守」自己評価：4.0

法令遵守では、文書管理・個人情報保護の対策を進めてきた。

学校評価ガイドラインにより自己点検・自己評価を行い、評価結果を学校ホームページで公表している。

X 「社会貢献地域貢献」自己評価：4.0

青年赤十字奉仕団の一員として、日本赤十字社新潟県支部、長岡市社会福祉協議会、長岡若者しごと機構、長岡地域振興局等のボランティアの要請に応え活動した。施設訪問等は縮小せざるを得なかったが、学生は奉仕団としての自覚をもち、できることを工夫している。学生の活動を支援するとともに、積極的な地域ニーズの把握やボランティア活動の実績評価を進めていく。

XI 「国際交流」自己評価：4.0

国際的視点をひろげるための、外国人教師による英会話の充実や、災害医療論の中でも国際看護を教授している。異文化論・グローバルヘルスにおいて、国際交流の時間を設けている。

<学校関係者評価結果>

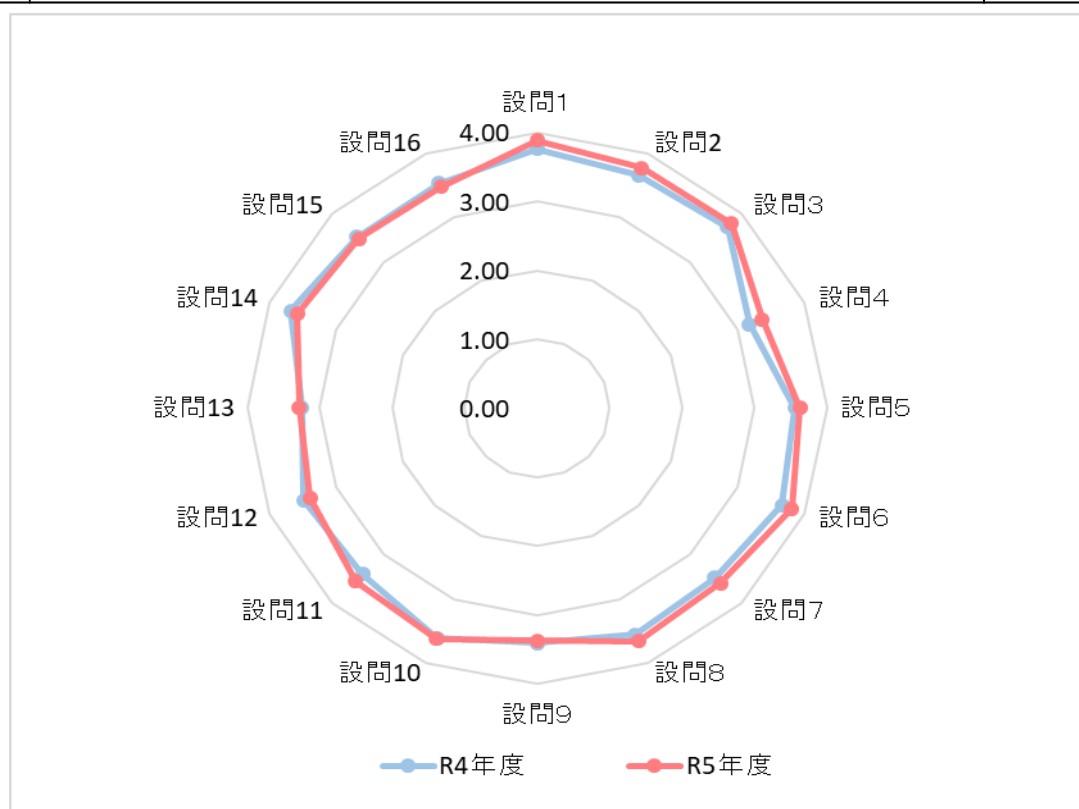
保護者の皆様には、学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。今年度より、学校評価内容について項目数を増やし、評価していただきました。

結果をふまえ、教育の状況や学生の様子、学生生活の状況等を、保護者の皆様にわかりやすくお伝えできるよう、学校ホームページの充実を図るとともに、引き続き保護者の皆様と連携し学生を支援していきたいと考えております。

保護者の皆様からのご意見等を真摯に受け止め、学校運営に生かすとともに、これからも当校の教育理念に沿った質の高い看護師を養成してまいります。

点数平均（4点満点）

設問	学校評価内容	R4年度	R5年度
1	学校は、教育理念・教育目的・教育目標の達成に向けて教育活動に取り組んでいる。	3.76	3.88
2	教員は、教育科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫し実施している。	3.66	3.77
3	学校は、臨地実習施設と連携し、臨地実習における看護実践の学習を支援している。	3.72	3.79
4	学校は、個々の学生にあった方法で学習支援を行っている。	3.17	3.37
5	学校は、進学や就職を支援する体制を整え支援している。	3.56	3.63
6	学校は、看護師国家試験に対する支援体制を整え支援している。	3.67	3.81
7	学校は、学生の健康管理に取り組んでいる。	3.47	3.58
8	学校は、教育上必要な施設・設備・教育用具等を整備している。	3.55	3.65
9	学校は、学生の要望を把握し、快適で充実した学校生活が送れるよう支援している。	3.40	3.37
10	学校は、学内における防災・安全管理等、危機管理体制を整備し、適切に運用している。	3.61	3.61
11	学校は、学生に対してソーシャルメディアの適正利用や個人情報の管理に関する啓発及び教育に取り組んでいる。	3.40	3.54
12	学校は、保護者に対して教育活動の状況や学生の様子等の情報提供を適切に行っている。	3.49	3.38
13	ホームページにより、3学年の学生生活がイメージできる。	3.25	3.28
14	看護師（専門職）を目指す学生としての自覚を感じる。	3.68	3.58
15	赤十字の活動に関心をもっている言動を見聞きする。	3.51	3.47
16	日常生活の場面を通し、社会人としての成長を感じる。	3.53	3.47



学校関係者評価結果